

平成 31 年 1 月 4 日発行 洗足池保育園

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成 31 年がスタートしました。新しい年の始まりは期待感でいっぱいになりますね。

保育園には賑やかな子ども達の声が響き、休み中の出来事をお話してくれます。みんなの元気な声を聴いていると、自然に笑顔になるから不思議ですね。子どもたちにとって毎日が成長と変化の連続です。一人ひとりがのびのびとすこやかに成長することを願って、職員一同、子ども達と元気に過ごしていきたいと思ひます。

年末から少しインフルエンザが出始めましたが、感染性胃腸炎や急な発熱など、冬に流行する風邪も多くなってきます。園でも換気や加湿などの環境の配慮を十分に行い、予防を心がけていきたいと思ひます。感染拡大防止の為、皆様のご理解ご協力お願ひ申し上げます。

## 1月の行事予定

- 1-3日 年始休み
- 4日(金) 園・保健日より発行
- 10日(木) 災害訓練
- 12日(土) 観劇会
- 18日(金) 卒園懇談会(5歳児親子)  
17:30
- 23日(水) 誕生会
- 29日(火) 洗足池小学校交流会  
(5歳児)



良い笑顔♪

入園当初と比べると、  
遊び方も変わってきました☆

子は育つ  
女は育つ

『 親や教師や大人たちが、自分たちの思い通りに子どもを育てれば、子どもたちは他者の思い通りにしか行動できない人間になる。自主性、主体性、創造性といったものは当然育つはずがない。

まず子どもたちは、人と自分を信じる事が出来るように、人生の最初に無条件の愛情に恵まれてから、社会の規範を上等の手本を見せられながら、ゆっくりおだやかに教えられるのがいいだろう。時代や文化の影響を自分の力で上手に取捨選択できるように、自分の存在価値を実感できるような子どもにしておいてやればいいと思う。あなたはあなたのままで、他にかけがえのない価値がある。君は君の道を、ただひたすら歩めば、それで十分である。与えるべきメッセージはそれだけであろう 』

～「相田みつを いのちのことば 育てたように子は育つ」佐々木正美 著より～

◎子どもは、抱きしめられたり、やさしい言葉をかけられたり、楽しく食事をしたり、いつも温かく世話をされ、“安心とやすらぎとよりどころ”を実感し沢山の愛情を受けることで、素直に育ち、遊びに熱中し、大人の言う事を良く聞き、やさしさを持って育っていきます。近年の子ども達の育ちに求められている【主体性・創造性・未来を切り拓く力】等…、時代は変わっても求められる本質は、いつも同じなのかもしれません。

大人の思いや都合ではなく、目の前のその子が感じている事や考えている事を、そのまま受け止め、溢れ出る可能性を発揮できるように、寄り添って行きたいですね。



見本を見ずにサンタさんと  
トナカイさんを書きました！



おもちゃのおっちゃん岩城さんに、  
園内研修で保育園に来て頂きました♪

